

さいたま市立大宮北中学校

# 学校だより 9月号

令和5年9月1日(金)



048 (641) 1214

048 (641) 6680 (さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

『人間性豊かな  
実践力のある生徒』  
たしかな学力  
ゆたかな心情  
たくましい身体

## 充実の二学期

校長 小林 正美

長かった夏休みも終わり、いよいよ二学期が始まりました。この二学期一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。二学期は、生活を向上させ、学力や体力を伸ばすのに適した学期です。また、文化祭や合唱祭、新人体育大会、市駅伝競走大会、寿能台レースなど、多くの行事を通して個人はもとより集団の力を高める学期でもあります。3年生にとっては、自分の目指す進路に向かい、あわてず、焦らず、一歩ずつ、着実に力を蓄積していく学期です。ぜひ、生徒一人ひとりが規律ある落ち着いた生活を心掛け、学習や学級活動、生徒会活動を通して、学ぶ喜びを実感しながら目標達成に向けての努力と挑戦を続け、身に付けた力を遺憾なく発揮できる二学期にしてほしいと思います。

昔から「天高く馬肥ゆる秋」「燈火親しむ秋」などと言われているように、二学期は、一年中で一番さわやかな気候に恵まれ、勉強や運動に打ち込める絶好の季節です。そこで大宮北中生一人ひとりには、本校の教育目標「人間性豊かな実践力のある生徒」を踏まえて、特に次の点について今学期努力してほしいと思います。



その一つ目は、「深く考える」ということです。言うまでもなく、これは毎日の学習活動の中で常に努力すべき事柄ですが、できるだけ多くの本を読み、読書を通じ静かに考える時間をもつことに努めてほしいと思います。豊かな心を養い、幅広い考え方や正しい判断力を磨く上からも、読書して考える習慣を身に付けることは非常に大切なことです。

二つ目は「体を鍛える」ということです。健康は人生の宝と言われるように何をするにも体が丈夫であることが大切です。素晴らしい成長を遂げていく中学生時代に、体を十分に鍛えておくかどうかは、将来の健康生活にも大きな影響があります。規則正しい生活に留意するとともに体育活動には進んで参加し秋晴れのもとで積極的に体を鍛えてほしいものです。以上、重点目標を二点挙げましたが、向上への原動力は、何といたっても一人ひとりの実行力にあることを考え、一層の努力を望みます。自然はこれから実りの秋を迎えますが、学校生活も二学期は充実期です。大宮北中生一人ひとりに、自覚と節度のある行動によって充実期にふさわしい成果を期待しています。

ところで、9月1日は「防災の日」です。1923年9月1日に関東大震災が、1995年1月17日には阪神・淡路大震災が、そして、2011年3月11日午後2時46分に東日本大震災が発生し、私たちは、改めて災害の恐ろしさ、被害の重大さ、失ったものの尊さを実感しました。「災害は、忘れたころにやってくる」と言われますが、私たちの生活圏でも、またいつ、未曾有の災害が起きるかわかりません。自然災害の恐ろしさを再認識し、日頃より身を守るための予防的措置を講じておくとともに自らの危機予知能力を高め、「自分の命は自分で守る」ことを念頭に適切かつ迅速に行動できるようにしたいものです。